



2020年5月29日

各位

会社名 ウェルネット株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮澤 一洋
(コード2428 東証一部)
問合せ先
役職・氏名 取締役管理部長 内山 正明
電 話 03-3580-0199

業績予想の修正および中期経営計画の見直しに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、今期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

また、併せて2016年6月期決算短信にて公表しました「中期経営5か年計画（2016年7月～2021年6月）」の見直しについて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2020年6月期通期個別業績予想数値の修正（2019年7月1日～2020年6月30日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益*1 |
|--------------------------|----------|----------|----------|----------|--------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 — | 百万円 — | 百万円 — | 百万円 — | 円 銭 — |
| 今回修正予想 (B) | 9,279 | 776 | 784 | 471 | 25.12 |
| 増減割 (B-A) | — | — | — | — | — |
| 増減率 (%) | — | — | — | — | — |
| (ご参考) 前期実績 (2019年6月期) | 10,032 | 503 | 530 | 374 | 20.02 |

*1 第3四半期期中平均株式数を利用して算出

(2) 修正の理由

2020年6月期の業績予想につきましては、当社ビジネスモデルの特性もあり期初より開示をしておりませんでした。また、新型コロナウイルス感染症の拡大が経営成績に与える影響を合理的に算定することが困難であったため、第3四半期会計期間の業績発表時にも業績予想の数値による開示を行うことが

出来ませんでした。第4四半期当会計期間の進行に伴い未確定な要素が減少し、業績見通しの数値見積もりが可能となりましたので、今般、発表を行うものであります。

なお、業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、投資判断や業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

2. 中期経営計画の見直し

当社は、新たなビジネスチャンスに積極果敢にチャレンジする「中期経営5か年計画（2016年7月－2021年6月）」を2016年6月期決算短信にて公表し、重点施策を「電子マネー化時代への対応」「バスIT化プロジェクトの推進」「事業者サイドに立ったコンシューマ向けサービス支援」として、その基本方針に則り事業を推進してまいりました。

しかしながら、新中期経営5か年計画を策定時には想定出来なかった事象が重なったこと、さらに、本年年明けからの世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大で企業活動が減退するなど、経済金融情勢は急速に悪化し、現在の当社を取り巻く経営環境は、本計画公表時に想定し得ない先行き不透明な状況になってきたことから、「中期経営5か年計画（2016年7月－2021年6月）」の利益目標値については取り下げることとさせていただきます。

当社が事業ドメインとする非対面決済市場については今後も一定の伸長を見込んでおり、ペーパーレス化、キャッシュレス化等の動きはますます活発化するものと予測しております。緊急事態宣言が解除された後も、新型コロナウイルス感染症への基本的対策として新しい生活様式の徹底が求められており、一人ひとりのライフスタイルは確実に変容していくことが予想されます。その変化をチャンスととらえ、新たなビジネス機会の創出にチャレンジしてまいります。

なお、現状での環境変化は極めて激しいものがあります。新たな計画を出すには適当な時期ではないと判断せざるを得ませんので、計画開示については、今後の状況を見極めながら適宜判断してまいります。

以上